

防災学習指導案（防災ノート 高校生版）

1. 本時の題材 「避難所で生活することになったら」（防災ノートP13、14）

2. 本時の目標

- ・自分たちの学校が避難所になった時のことを具体的に想像することができる。
- ・避難所運営に必要な仕事を考え、自分たちに何ができるかを考えることができる。

3. 準備物

防災ノート、指導者用防災ノート、パソコン、プロジェクター、付箋など

4. 本時の指導

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<p>本時の目標を確認する。</p> <p style="text-align: center;"><本時の目標></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 学校が避難所になった時に、自分たちができることを考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災等の大災害時には、多くの被災者が学校等に避難してくることを確認する。 ・東日本大震災等での避難所運営で高校生が活躍したことにふれる。 ・自分たちの学校が避難所になった場合について学習することを告げる。
展 開	<p>1. 自分の学校が避難所になった時に、何人の人を収容できるか考える。(P14)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災などの際の避難所の写真などを活用して、避難所の様子をイメージさせる。 ・体育館の中で避難者が生活するスペースを把握し、通路や物資保管場所などを確保した上で、避難所内に何名収容することができるかを考えさせる。 ・自校の体育館の面積÷3㎡（人が横たわるのに必要なスペース2m×1.5m）＝受け入れ可能人数 <p style="margin-left: 20px;"><収容人数算出にあたり考慮すべき項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ①通路 ②物資保管場所（備蓄品・救援物資置き場） ③着替えスペース ④掲示版 ⑤要支援者のためのスペース (女性・高齢者・障がい者・外国人等) など

	<p>2. 自分の学校に、避難所生活に役立つものがないかを考える。 (P 14)</p> <p>3. 被災者を励ますために、自分たちの学校でできることを考える。 (P 14)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時には高校生も避難所運営を手伝う場合があることを伝える。 ・学校にある備蓄物資などを把握しておくこと避難所運営の際に便利であることに気づかせる。 ・自校にある避難所生活に役立つものを季節ごとに考えさせる。 ・自分の属する学科（普通科や看護学科等の専門学科）の特色をもとに考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者を励ますためにできることを、東日本大震災の新聞記事などを活用し、考えさせる。 ・各学校の特性に応じて、自分たちにできることは何かを考えさせる。 ・自校の強み（○○学科としての強みを生かしてできること）も出し合わせる。 ・グループで話し合い、話し合ったことを発表させる。 ・発表された内容を記録させる。
ま と め	<p>本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことや自分の思いを書かせる。 ・感想を発表させる。 ・避難所運営をするのは自分たちであることを知ること、高校生がすべきこと、できることを確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ワークシートを持ち帰らせ、家族と防災について話し合う機会を設けると、防災意識のさらなる向上につながり、効果的である。</p> </div>

5. 評価の視点

- ・生徒自身も避難所運営に関わり、避難所生活を維持していかななくてはならないことを理解することができたか。
- ・避難所生活において、自分たちが果たすべき役割について考えることができたか。